

愛教大演劇部 あすから卒業公演

手作り舞台、名古屋で



29日から始まる卒業公演をPRする4年生部員ら＝刈谷市の愛知教育大で

刈谷市の愛知教育大演劇部「劇団。把夢(パム)」の卒業公演「ナイトスイング」が二十九日と三月一日、名古屋市中天白区の劇場ナビロフトで開かれる。一、四年の部員十五人が昨秋から準備を始め、年末からは週五日、稽古を重ねてきた。衣装や小道具、宣伝物作り、照明、音響なども部員が手掛ける。(神谷慶)

一九七九年に旗揚げした劇団が、年三度の主な自主公演の中で最も力を入れる公演。上演するのは劇団「弦巻楽団」(札幌市)主宰の弦巻啓太さん作で、誰もが気軽に宇宙旅行できる二二二七年が舞台の物語。ロケットに乗る主人公が事故に遭い、不時着した惑星

で、既に亡くなったはずの同級生たちと再会する。非日常的な空間を舞台としながらも、身近な人間関係の機微を表現する。

部員は舞台装置を手作りし、照明を組み込んで不思議な光を演出したり、高さ二メートルの構造物を木などで作製したりした。衣装も色彩豊かに仕上げた。全身を使う迫力ある身体表現も採り入れ、制作担当の四年藤倉しおりさん(三三)は「華やかで迫力ある舞台になるはず。こちらもしっかり演技するので、皆さんも劇場で思いっきり泣いたり笑ったりしてほしい」と来場を呼び掛ける。

公演は二日間で計四回あり、開演は二十九日午後一時と同五時半、三月一日午前十一時と午後三時。入場料は事前予約が八百円、予約無しは千円。四人以上の団体は予約すれば人数を問わず一律二千円。予約は劇団ホームページか、メールでパム＝gekidanpa@mails@gmail.com＝へ。